

(平成20年8月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>8月期の野菜の入荷状況は、果菜類は前月から続く高温干ばつによって着果不良となり入荷が減少した。また、根菜類、葉菜類においても高温干ばつの影響に加え、中旬から下旬にかけて各地で相次いだ豪雨の影響が重なったことから入荷が減少し、野菜全体の入荷量としては前年同期を8%下回った。</p> <p>価格は、根菜類の一部において入荷減による単価高が見られたものの、葉菜類、果菜類においては入荷減少ながら単価安となり、全体としては前年同期を9%下回った。</p> <p>品目別には、西洋にんじん、ほうれんそうが入荷減の単価高となり、はくさい、キャベツ、レタス、きゅうり、ナス、ピーマンは入荷減の単価安となった。また、長大根は入荷減の単価前年並み、ばれいしょは入荷前年並みの単価高であった。</p> <p>根菜類は、入荷が10%減少し、価格は19%高となった。 葉菜類は、入荷が13%減少し、価格は17%安となった。 果菜類は、入荷が7%減少し、価格は12%安となった。 土物類は、入荷が前年並みで、価格も前年並みとなった。</p>
果 実	<p>8月期の果実の入荷状況は、高温干ばつの影響により、ハウスみかん、ぶどう類などで着色不良などによる入荷の遅れが見られ、果実全体の入荷量としては前年同期を4%下回った。</p> <p>価格は、消費の低迷に加え、高温干ばつの影響による品質低下が重なり、全体として前年同期を15%下回った。</p> <p>品目別には、ハウスみかん、津軽りんごが入荷前年並みの単価安、幸水なし、もも、アールスメロンでは入荷増の単価安となり、デラウェア、巨峰では入荷減の単価安であった。</p> <p>柑橘類は、入荷が7%減少し、価格は16%安となった。 りんご類は、入荷が前年並みで、価格は17%安となった。 なし類は、入荷が13%減少し、価格は17%安となった。 もも類は、入荷が5%増加し、価格は12%安となった。 ぶどう類は、入荷が7%減少し、価格は12%安となった。 メロン類は、入荷が4%減少し、価格は10%安となった。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
<p>【根菜類】 長大根</p>	<p>北海道を中心に，兵庫県，青森県からの入荷。北海道では7月から続く出荷調整によって入荷減となり，入荷量は前年同期を6%下回った。 価格は，出荷調整による入荷の減少によって，前月までの単価安から前年並みとなった。</p>
<p>西洋人参</p>	<p>北海道を中心とする入荷。主力産地の北海道では生育期の天候不良で作柄が悪化し，入荷量は前年同期を21%下回った。 価格は，入荷減に加え，昨年が豊作による単価安だったことから，前年同期を54%上回った。</p>
<p>【葉菜類】 はくさい</p>	<p>長野県を中心に，北海道，滋賀県からの入荷。主力産地の長野県では高温干ばつの影響に加え，中旬の豪雨によって，入荷量は前年同期を14%下回った。 価格は，入荷減ながら，猛暑による消費低迷によって，前年同期を9%下回った。</p>
<p>キャベツ</p>	<p>群馬県，長野県を中心に，北海道からの入荷。主力産地の群馬県，長野県では白菜同様に高温干ばつ及び豪雨の影響があり，入荷量は前年同期を16%下回った。 価格は，入荷減ながら，加工業務用の消費低迷に加え，豪雨による品質低下も見られたことから，前年同期を48%下回る結果となった。</p>
<p>ほうれんそう</p>	<p>岐阜県を中心に，北海道，茨城県からの入荷。主力産地の岐阜県では高温干ばつの影響によって生育が遅れ，入荷量は前年同期を18%下回った。 価格は，入荷減によって前年同期を12%上回った。</p>
<p>レタス</p>	<p>長野県を中心に，北海道からの入荷。主力産地の長野県では白菜同様に高温干ばつ及び豪雨の影響によって，入荷量は前年同期を8%下回った。 価格は，入荷減ながら，加工業務用の消費低迷に加え，豪雨による品質低下も見られたことから，前年同期を37%下回る結果となった。</p>

<p>【果菜類】 きゅうり</p>	<p>京都府，福島県を中心に，愛媛県，大阪府からの入荷。各産地とも中旬以降は高温干ばつによって着果不良となり，入荷量は前年同期を16%下回った。 価格は，中旬以降から品薄状態によって単価高となったが，入荷の集中した上旬は単価安であったため，全体としては前年同期を7%下回った。</p>
<p>なす</p>	<p>京都府を中心に，徳島県，奈良県，岐阜県からの入荷。各産地とも中旬以降は高温干ばつによって着果不良となり，入荷量は前年同期を6%下回った。 価格は，入荷減ながら猛暑によって消費が低迷しており，前年同期を22%下回った。</p>
<p>トマト</p>	<p>北海道を中心に，岐阜県，京都府，茨城県からの入荷。主力産地である北海道では，中旬まで順調な入荷であったものの，下旬には低温による入荷減があり，全体としては前年並みの入荷量となった。 価格は，下旬には品薄状態から単価高となったが，入荷の集中した上旬が単価安であったため，全体としては前年同期を13%下回った。</p>
<p>ピーマン</p>	<p>京都府，大分県，兵庫県を中心とする入荷。各産地とも中旬以降は高温干ばつによって着果不良となり，入荷量は前年同期を8%下回った。 価格は，入荷減ながら猛暑によって消費が低迷しており，前年同期を19%下回った。</p>
<p>【土物類】 ばれいしょ (メーク含む)</p>	<p>北海道を中心に，青森県からの入荷。下旬には入荷減となったものの，上中旬は順調な入荷であったため，全体の入荷量としては前年並みとなった。 価格は，安定した需要と，下旬の入荷減によって，前年同期を10%上回った。</p>
<p>たまねぎ</p>	<p>兵庫県を中心に，北海道からの入荷。天候不順によって遅れていた北海道産の入荷が集中し，入荷量は前年同期を5%上回った。 価格は，入荷増によって前年同期を6%下回った。</p>
<p>【その他野菜】 生しいたけ</p>	<p>徳島県を中心に，広島県，岡山県，和歌山県からの入荷。各産地とも前月の単価安を受けて生産調整を行ったことから，入荷量は前年同期を8%下回った。 価格は，入荷減によって前年同期を5%上回った。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	<p>佐賀県，和歌山県を中心とする入荷。各産地とも高温の影響によって着色不良や浮き皮等下位等級中心の入荷ではあったものの，入荷量は前年並みとなった。</p> <p>価格は，消費の低迷に加え，下位等級の割合が多かったことから，前年同期を20%下回った。</p>
津軽 （サン含む）	<p>長野県を中心に，山形県，青森県からの入荷。入荷量は前年並みとなった。</p> <p>価格は，高温による着色不良に加え，消費が低迷していることもあり，前年同期を27%下回った。</p>
幸水なし	<p>長野県を中心に，佐賀県，富山県，徳島県からの入荷。各産地とも作柄良好で，入荷量は前年同期を16%上回った。</p> <p>価格は，上旬は品薄だったために単価高となったが，中旬以降は入荷増の影響を受けて単価安となり，全体としては前年同期を22%下回った。</p>
もも	<p>山梨県を中心に，長野県，福島県，和歌山県からの入荷。主力の山梨県では高温による着色不良が見られたものの，入荷量は前年同期を5%上回った。</p> <p>価格は，入荷増に加え，中旬以降に消費が低迷したことから，前年同期を12%下回った。</p>
デラウェア	<p>山梨県を中心に，山形県，長野県からの入荷。主力産地である山梨県からの入荷が遅れたことに加え，山形県の切り上がりが早かったため，入荷量は前年同期を12%下回った。</p> <p>価格は，品質良好ではあったものの，消費の低迷によって入荷減ながら前年同期を9%下回った。</p>
巨峰	<p>山梨県，福岡県，長野県を中心とする入荷。各産地ともに着色遅れから入荷が遅れ，入荷量は前年同期を5%下回った。</p> <p>価格は，入荷減ながら，着色不良と消費の低迷によって，前年同期を14%下回った。</p>
アールス	<p>静岡県を中心とする入荷。各産地とも原油高の影響から夏期の作付けが増えたことで入荷が集中し，入荷量は前年同期を12%上回った。</p> <p>価格は，入荷増の影響によって，前年同期を14%下回った。</p>